

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	23468
事業名	生活支援ハウス運営費					
評価担当課	所属名	保) 高齢保健福 高齢福祉課				
	課長名	石崎 憲史	担当者名	松田 菜	電話番号	011-211-2976
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外		戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外		
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費 <input type="radio"/> 臨時的経費					
	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 法定経費 <input type="radio"/> 指定管理					
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 補助助成 <input type="radio"/> その他				
	目的	短期	介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援する。			
		長期	介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援する。			
	取組内容	<p>社会福祉法人に運営を委託し、以下のサービスを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者に対して、住居を提供すること。</li> <li>利用者に対する各種相談、助言を行うとともに緊急時の対応を行うこと。</li> <li>利用者が虚弱化等に伴い、通所介護、訪問介護等介護サービス及び保健福祉サービスを必要とする場合は、必要に応じ、利用手続きの援助を行うこと。</li> <li>利用者と地域住民との交流を図るための各種事業及び交流のための場の提供を行うこと。</li> </ul>				
	実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内4か所(北、厚別、清田、手稲)の社会福祉法人に運営を委託。</li> <li>令和3年度は1か月あたりの平均利用者は77名、令和4年3月末時点での利用者は76名であった(定員:80名)。</li> </ul>				
事業実施における工夫点	介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援していくが、利用者数の減少や、運営法人から施設の転用等の要望があった場合は、施設の今後の方向性について検討を行う。					
対象者	市内に居住する60歳以上の高齢者	開始	平成12年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	生活支援ハウス(高齢者生活福祉センター)運営事業実施要綱					
他都市の状況	他の自治体でも同種の事業が行われている。					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	57,574	57,574	57,574	57,574	
うち特定財源	4,193	4,460	5,163	4,328	
人工	0.1	0.0	0.0	0.1	
人件費	720	0	0	720	
計(事業費+人件費)	58,294	57,574	57,574	58,294	
事業費の内訳	令和3年度決算	生活支援ハウス運営委託料 57,574千円			
	令和4年度予算	生活支援ハウス運営委託料 57,574千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	利用者数(1か月平均)		
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
		80	80	77	80
活動指標2		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	介護保険施設等への入所には至らないが、独立して生活することに不安を抱えている高齢者に対し、安心した生活を送ることに寄与している。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	運営委託料及び利用者負担金は、国庫補助対象時の基準に準拠して設定しており、適切な運営経費、利用者負担であると考えます。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	当事業は、事業開始当初に国庫補助の対象となっており、国の要綱に基づいて、国と協議した上で受託法人を選定し、業務委託により実施することとしたものである。いずれの法人も、特別養護老人ホーム、デイサービス等の事業を運営していることから、介護サービスに係るノウハウやスタッフを有しており、また、生活支援ハウスにそれらの介護施設を併設していることから、多様な連携が可能である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	定員80名に対し、満室に近い状況であり、待機者も存在することから、独立して生活すること不安を抱えている高齢者にとっては一定のニーズがあると考えられる。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外    市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	特になし				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	特になし			見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	介護保険施設への入所までは至らないが、独立して生活すること不安を抱えている高齢者にとって一定のニーズがあり、安心した生活を送ることに寄与している。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 一定のニーズがあり、現に入居している利用者もいることから、現状の事業内容を維持する。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 国庫補助対象時の基準に基づき運営委託料を設定しており、次年度も同程度の予算となる。			見直し効果額